

病児保育について

平野達司 指定都市トップレベルの24施設を整備しているが、いまだに兵庫区は未設置の状態。

子育て環境の地域格差を解消のために、兵庫区への新規整備を進めていただきたい。



病児保育



予算特別委員会ことども家庭局質疑20250310

中山ことども家庭局長 病児保育事業は、医師会と連携し全て小児科医がいる医療機関併設型で実施。今年度も兵庫区の医療機関に対して開設を働きかけたが、協力いただける医療機関の確保に至っていない。令和7年度予算は、兵庫区での開設を含む新規整備2か所を計上、改めて兵庫区内の小児科医のいる医療機関に足を運び、粘り強く開設の働きかけを行い、未設置状況の解消に向けて取り組んでまいりたい。

平野達司 私も兵庫区医師会には、様々な場で直接要望を伝えている。あわせて兵庫区に小児科が、北東部(平野地区)、運南地区にない。そのために参入促進や事業継続を支援する補助制度の充実を求められる。令和7年度予算案では基本単価の引上げや複数の異なる感染症の児童受入れ施設の加算が新設されるが十分か、施設への補助含めお考えは?

中山ことども家庭局長 病児保育は、感染症の流行やキャンセルが多く、運営が不安定になりやすく、特性上保育士の確保も難しい事業。国は令和3年度以降基本単価の引上げやキャンセル加算の新設など支援を強化しており、本市も独自の利用人数加算や保育士の処遇改善などの補助を行っている。

今後は、利用者を増やす広報や保育人材の確保の支援を進め兵庫区での開設も取り組んでまいりたい。

平野達司 兵庫区に病児保育ができるまで時間がかかる可能性も大きい。それまでの間の代替提案を是非検討いただきたい。例えば、ファミリーサポートの幼児保育版の導入。訪問型病児保育支援、またその利用料金の助成制度の導入など。併せて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にした上で予約まで完結できるシステム構築を検討いただきたい。

岩城ことども家庭局副局長 まずは兵庫区を含む市内への新規整備と今ある施設の運営、利用しやすい環境整備にも取り組んでいきたい。また、予約システム等のさらなる改善も取り組んでいきたい。

産後ケア事業における利用者の利便性向上について

平野達司 産後ケア事業の利用者が急増し、今後も増加が見込まれる。しかし、市との連絡は「e-KOBE」施設の予約や空き状況の確認は個別に電話対応となっており、申請から予約・調整まで一元的なシステムの導入が必要ではないか

中山ことども家庭局長 産後ケア事業は、母親の心身の回復や育児支援を目的とし、神戸市では全国平均(1割)を大きく上回る3割が利用し、高い満足度を得ている。利用者増加に伴い、利便性向上が求められており、電子申請の導入

や申請受付の前倒し、2回目以降は直接施設に申し込める仕組みを改善予定。しかし、施設の空き状況確認には電話対応が必要など課題もある。今後は、利用申請から空き状況確認まで一括で管理できるシステムの導入を、施設の意見を聞きながら検討していく。

他に児童館における英語学習や国際交流について、親が子育てについて学ぶ場所(親のコーチング)についても質疑いたしました。

中学校 部活動の地域移行 コベカツ

少子化による生徒数減少により部活動の種目減や、活動の選択肢が少なくなる傾向にあり、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は、以前と大きく変わっています。

生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月に平日・休日ともに、「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々と共に、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。経済的な事情や活動地域の偏りなど関わらず充実した活動ができるよう引き続き議論していきます。

コベカツ一次募集結果はこちら
コベカツHP



神戸市議員
平野達司(たつじ)
事務所

神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP

神戸市会の本会議、
委員会をインターネットにて
閲覧できます。



神戸市会